

G I G Aスクール構想第2期における取り組みについて (学校ネットワーク環境の改善)

1. これまでの取り組み

国が令和元年度に打ち出したG I G Aスクール構想は、「学校における高速大容量のネットワーク環境の整備を推進するとともに、特に義務教育段階において、令和5年度までに（第1期）、全学年の児童生徒一人ひとりがそれぞれ端末を持ち、十分に活用できる環境の実現を目指す」としていたことから、本市においては学習者用端末や大型提示装置をはじめとした機器の整備や学校ネットワーク設備の改修等を実施。

【第1期（R1～R5）の実績】

○校内情報設備改修工事（R2）	43,373 千円
○大型提示装置の配置（R2～4） 普通教室 116 台	30,118 千円
○校務支援システム接続環境構築業務委託（R4）	4,145 千円
○校内ネットワーク状況調査（R5）	

2. 課 題

市内小中学校のうち特に大規模校において、1人1台端末やデジタル教科書を使用中、ネットワークが繋がらない等の不具合が頻繁に発生している状況。

また、不具合の一因として、学校規模ごとに設定された帯域（ネットワークが一定の時間に処理できるデータ量）の目安「当面の推奨帯域」※を満たしていない学校が13校中6校（小学校4校、中学校2校）あることを確認しており、学校ネットワークの改善が急務。

国は「当面の推奨帯域」を満たしていない学校が全国的に多いこと（78.4%）が課題であるとし、改善に向け第2期の取組を推奨している一方で、タブレット端末の更新の条件として「当面の推奨帯域」を満たすこととしている。

	児童生徒数 (人)	推奨帯域 (Mbps)	R5年度 (Mbps)	R6年度 (Mbps)	判定
大野小	148	270	180	359	OK
山上小	20	54	53.4	94	OK
八幡小	105	216	170	250	OK
中一小	331	437	120	344	NG
中二小	392	468	26.6	380	NG
桜丘小	464	496	53	111	NG
飯豊小	210	377	35	255	NG
磯部小	19	54	95.1	88	OK
日立木小	86	161	154	328	OK
中一中	385	453	94	260	NG
中二中	167	323	44.4	337	OK
向陽中	335	437	95.2	274	NG
磯部中	22	54	68.5	87	OK

【改善の取組】

令和5年度は13校中11校で「当面の推奨帯域」を満たしておらず、令和6年4月に通信契約を見直した（上り100M下り200M→上り下り1G）ことにより、5校は改善した。

しかしながら、以前として比較的規模の大きい6校は、「当面の推奨帯域」を満たしていない状況である。

※「当面の推奨帯域」とは

同時に全ての授業において、多くの児童生徒が高頻度で端末を活用する場合にも、ネットワークを原因とする支障がほぼ生じない水準であり、端末活用の日常化に向けて、ほぼすべての学校が目指すべき水準

3. 対 応（案）

「当面の推奨帯域」を満たしていない学校について

- ① ネットワークアセスメント（学校内外のネットワーク構成要素を評価し、課題の把握・原因箇所の特定を行う）の実施
見積額（概算）990,000 円×6 校＝5,940 千円
- ② アセスメントの結果を踏まえたネットワーク環境の改善
（回線契約の見直し、アクセスポイントの増設等）

4. 学校ネットワーク改善計画（案）

年度	内容等
令和 6 年度	・ ネットワークアセスメントの実施（6 校）
令和 7 年度以降	・ アセスメントの結果を踏まえたネットワーク環境の改善

5. 財源等について

○公立学校情報機器活用支援体制整備費補助金

（ネットワークアセスメント実施促進事業）

補助割合：3 分の 1、補助上限（事業費ベース）：1,000 千円/校

○GIGAスクール構想支援体制整備事業（R7 概算要求）

補助割合：3 分の 1、補助上限（事業費ベース）：2,000 千円/校